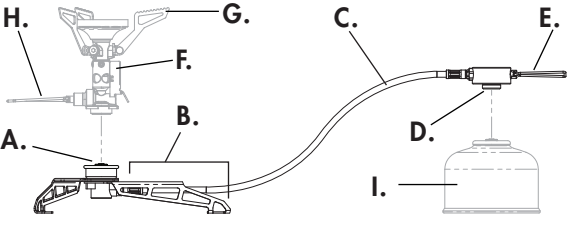


INSTRUCTION MANUAL

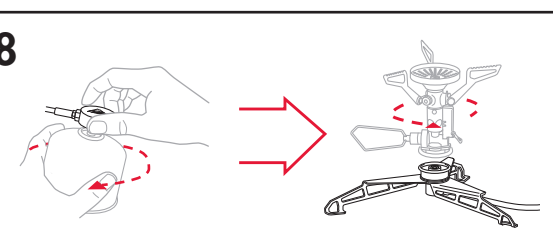
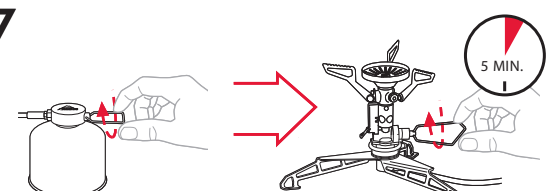
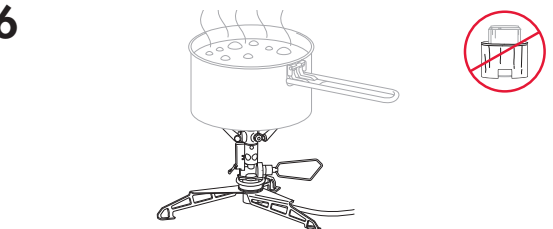
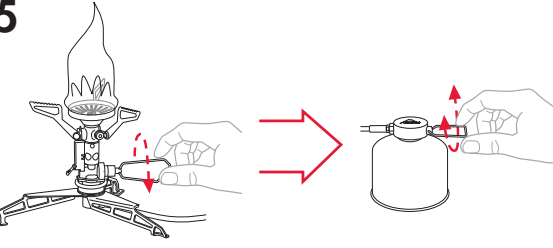
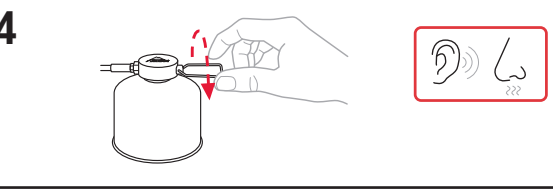
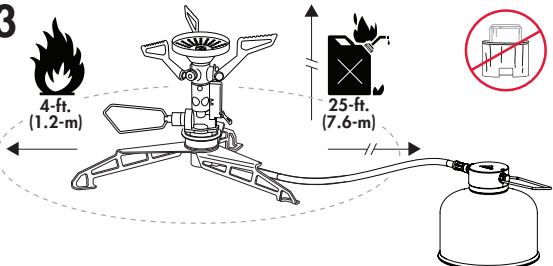
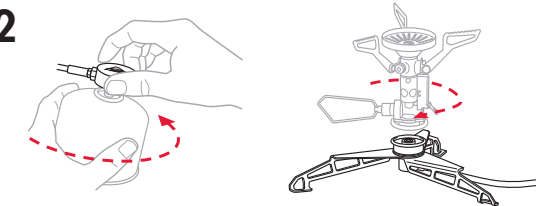
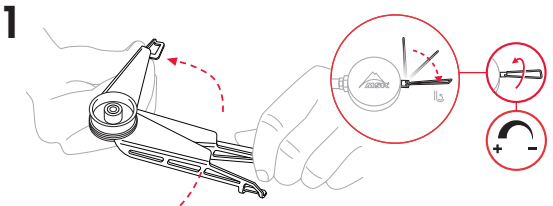


LOWDOWN™ REMOTE STOVE ADAPTER

Retain these instructions for future reference.



Stove and fuel canister not included



Cascade Designs, Inc.
4000 First Avenue South,
Seattle, WA 98134 USA
Cascade Designs, Inc., USA - 1-800-531-9531 or 206-505-9500
Cascade Designs, Ltd., Ireland - (+353) 21-4621400
www.msrgear.com | support.cascadedesigns.com

危険
屋外専用
一酸化炭素の危険
対応しているストーブでも、有毒で無臭の一酸化炭素ガスを発生する可能性があります。密閉された場所で使用すると、死亡事故に至る場合があります。本アダプターは、キャンピングカーやテント内、車内、屋内等、換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。

火災・爆発の危険
ガスの臭いがする場合：1. ストーブに点火しないでください。2. ストーブとアダプターが閉じていることを確認してください。3. 周辺の火を消してください。4. ガスカートリッジを外してください。5. 直ちにその場から避難してください。6. ガスが拡散するよう5分間以上時間をおいてください。7. ガスの臭いがその場周辺、器具、燃料源から消えたら、ガスの接続手順に従ってください。8. 再度ガスの臭いがしたら、上記の手順1~6を行い、器具を修理に出してください。これらの指示に従わない場合、火災や爆発が起き、物的損害、怪我、死亡事故などを引き起こす恐れがあります。

安全のための注意事項
本製品や他のストーブの近くで、ガソリン等の引火性ガスを発生する液体を保管したり、使用したりしないでください。

警告：設置、使用、調節、改造、サービス、保守が不適切な場合、怪我あるいは物的損害を引き起こす可能性があります。本取扱説明書を参照してください。サポートまたはさらなる詳細については、(株)モチヅキにお問い合わせください。

本アダプターは、MSRキャニスターストーブとEN 417対応の燃料キャニスターのみに使用できます。(Superflyを除く)

本リモートストーブアダプター（以下「アダプター」といいます）と燃料の使用により、重大な危険が生じる場合があります。失火や爆発、誤用により、死亡事故や重度の火傷、物的損害を引き起こす恐れがあります。使用者には、自分自身の安全および周りの人たちにに対する安全の責任があります。本取扱説明書を熟読し、適切な判断を行ってください。ガスカートリッジを取り付ける前に、アダプターの取り扱い方法をよくご理解ください。本説明書は、後日参照できるよう大切に保管してください。

- 危険**
- ・ ストーブにアダプターを取り付ける前に、ストーブに付属している取扱説明書をよく読み、その使用方法を十分に理解してください。
 - ・ ガスカートリッジをアダプターベースに取り付ける前に、アダプターとガスカートリッジ間のOリングが正しくセットされ破損・磨耗等していないことを確認します。Oリングに破損・磨耗がある場合は、アダプターを使用しないでください。
 - ・ ガスカートリッジをアダプターバルブに接続する際、ガスカートリッジの交換は、換気の良い屋外で、裸火、口火、電熱機器などの発火源から離れた人のいない場所で行ってください。
 - ・ ガス漏れがないことを、音と臭いで確認してください。ガス漏れは非常に危険です。LPG 自体は無色・無臭で、添加されている強い臭いは、時間の経過とともに薄れていきます。臭いだけでガス漏れが必ず発見できるとは限りません。アダプターから漏れがある場合、アダプターが損傷している場合、あるいは正しく操作できない場合は、本製品を決して使用しないでください。
 - ・ アダプターとガスカートリッジが確実にきっちり接続されていることを確認してください。接続がしっかりされていないように見えたり感じたりした場合や、ガス漏れの音や臭いがしてガスを止められない場合は、アダプターやガスカートリッジの使用を中止してください。引火源となる恐れのあるものから離れた換気の良い場所に移動してから、ガス漏れ箇所を確認し、漏れを止めてください。ガス漏れをおこしているアダプターを使用すると、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。
 - ・ ガス漏れの点検は、必ず屋外で、石鹸水を使用して行ってください。火を使用してガス漏れを点検することは、絶対にしないでください。
 - ・ アダプターおよびガスカートリッジは、他の熱源の近くに保管しないでください。決してウィンドスクリーン(MSRブランド含む)を使用しないでください。ガスカートリッジは高温にさらされると、ガス漏れや爆発を引き起こし、死亡事故や重大な火傷に繋がる恐れがあります。
 - ・ 本説明書に記載されていないアダプターの分解を行わないでください。**本アダプターを改造しないでください。**本説明書の指示に一致しない方法でのアダプターの分解または改造は、保証が無効になります。また、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故が起きる危険な状況を引き起こす恐れがあります。使用者が修理・交換できるパーツはありません。
 - ・ 部品が欠けたり破損している場合、または専用交換部品以外が使用されている場合は、アダプターを使用しないでください。部品が欠けたり破損している状態、あるいは専用交換部品以外が使用されている状態でアダプターを使用すると、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故などが起きる危険な状況になる恐れがあります。
 - ・ フレキシブルホースは、捻れずに使います。
 - ・ アダプターは、-20℃ (-4°F) 未満で使用または保管しないでください。

危険 以下の場合は、アダプターを使用しないでください。(1)本説明書をすべて読み、完全に内容を理解する前、(2)熱いストーブや燃焼中のストーブの取り扱いに慣れていない、または不安な場合、(3)燃料漏れを発見した場合、(4)アダプターやストーブ自体に、あるいはその周囲に本製品の操作を危険にさらす要因を発見した場合。これらの指示に従わない場合、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故等が起きる危険な状況を引き起こす恐れがあります。

LOWDOWN™ リモートストーブアダプター 取扱説明書

ストーブの構成部品

A. アダプターベース	D. アダプターバルブ	G. 五徳
B. アダプター脚	E. アダプターフレーム	H. ストーブフレーム
C. アダプターフューエルライン	F. ストーブ(別売り)	I. ガスカートリッジ(別売り)

1. アダプターとストーブの準備 1. アダプター: アダプターの脚を広げます。アダプターフレームアジャスターを広げて回し、閉めます。2. ストーブ: 五徳があるストーブの場合、五徳を広げます。ストーブのフレームアジャスターを広げ、閉めます。

2. ストーブとガスカートリッジをアダプターに接続 1. ガスカートリッジを逆さまにすることなく、カートリッジをアダプターバルブにねじ込みます。しっかりと止まるまで手で締めます。2. ストーブをアダプターベースに接続し、しっかりと止まるまで手で締めます。

警告 ガスカートリッジをアダプターにきつく締めすぎないでください。締めすぎると、アダプターあるいはガスカートリッジが破損し、ガス漏れを引き起こす可能性があります。ガス漏れは、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故等の原因となります。ガスカートリッジは、EN 417に準拠して製造・表記されていなければなりません。

氷点下でアダプターやストーブを使用する場合は、細心の注意を払ってください。氷点下ではOリングが硬くなり、ガスが漏れる可能性があります。ストーブに点火する前後で、ガスが漏れていないことを必ず確認してください。ガス漏れを起こしているストーブを使用すると、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

子供がストーブや燃料に近づかないよう気を付けてください。カスケードデザイン社では、3m 以上の距離を取ることを推奨します。燃焼しているストーブや熱いストーブから目を離さないでください。ストーブを放置すると火災になる恐れがあり、子供、ペット、ストーブに気が付かない人が、火傷や怪我をしたり死亡事故に至る場合があります。

3. 調理する場所の準備 1. 調理する場所の周りには、可燃物や引火性液体や燃料を置かないでください。2. アダプターとカートリッジは表面が硬く平らで安定した場所に置いてください。注意: ウィンドスクリーンは使用しないでください。

警告 可燃物は、燃焼しているストーブや点火しようとしているストーブの上部および周辺より少なくとも 1.2 m 離してください。引火性のある液体や燃料は、燃焼しているストーブや点火しようとしているストーブの上部および周囲から少なくとも 7.6 m 離してください。ストーブは可燃物、引火性のある液体やガスを引火させることがあり、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故に至るような状況を引き起こす恐れがあります。

フレームアジャスターバルブが開いたままになっている場合は、決してストーブに点火しようとはしないでください。フレームアジャスターバルブが開いたままになっている場合は、バルブをすぐに閉じ完全に換気してから、ストーブに点火してください。換気せずに点火すると、爆発を引き起こすことがあり、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故等に至る場合があります。

4. ガス漏れの確認 1. ストーブのフレームアジャスターが閉じている状態で、アダプターのフレームアジャスターを完全に開き、ガス漏れがないことを音と臭いで確認してください。2. ガス漏れの音または臭いがする場合、アダプターのフレームアジャスターを閉じて、カートリッジとストーブの接続を締め直します。再度、ガス漏れの確認手順を繰り返します。引き続きガスの音または臭いがする場合、使用しないでください。

5. ストーブの点火 1. ストーブの取扱説明書に従ってストーブに点火し、ストーブのフレームアジャスターを完全に開きます。2. アダプターのフレームアジャスターを回して、火加減を調節します。注意: 使用中、ガスカートリッジは絶対に逆さまにしないでください。

警告 ストーブの点火中や燃焼中は、頭や体がストーブの上部に来ないようにしてください。頭や体をストーブの上部に持つことは、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れのある危険な行為です。

6. 調理方法 1. 調理器具に食品や液体を入れます。2. 調理器具をストーブの中央に置きます。絶対に空焚きをしないでください。また、ウィンドスクリーンは使用しないでください。3. アダプターのフレームアジャスターを回して火力を調節します。

警告 燃焼中、あるいはアダプターやストーブが熱い場合は、移動させないでください。移動させる前には、ストーブの火を消してから必ず最低 5 分間冷まします。燃焼中あるいはアダプターやストーブが熱い中移動をすると、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。中が空、あるいは液体の入っていない調理器具でストーブを使用しないでください。リアフレクターやディフューザーは絶対に使用しないでください。アダプターあるいはストーブを間違った方法で使用すると、ガスカートリッジが爆発し、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故に至る場合があります。

7. ストーブの消火 1. 調理後は、アダプターのフレームアジャスターを閉じます。2. 火が消えたら、ストーブのフレームアジャスターを完全に閉じます。3. 全体が冷めるまで 5分ほど待ちます。

8. 収納 1. 引火源となる可能性のあるものから遠ざけ、ガスカートリッジを締めアダプターバルブから取り外します。カートリッジを取り外すときに、少量のガスが抜ける場合があります。2. ストーブを締め、アダプターベースから取り外します。ストーブの取扱説明書に従ってストーブを収納します。3. アダプターを収納するには、アダプターフレームアジャスターを閉じ、アダプターの脚を元に戻し閉じます。

警告 アダプターを保管するときは、必ずガスカートリッジを外してください。ガスカートリッジを外さずに保管すると、ガス漏れを引き起こす可能性があり、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故等の原因となる場合があります。ガスカートリッジは、温水器、ストーブ、口火、暖房器具、温度が 49 度を超える場所等、熱源や引火源から離れた換気の良い場所に必ず保管してください。熱源や引火源の近くや、温度が 49 度を超える場所等にガスカートリッジを保管すると、爆発する恐れがあり、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故等の原因となる場合があります。

ストーブのアフターサービスは、カスケードデザイン社の正規代理店のみにより提供されます。本説明書に関する不明点やアダプター、交換部品、修理についての質問は、(株)モチヅキまでご連絡ください。

限定保証の詳細については、www.e-mot.co.jp/repair/warranty.asp をご覧ください。